

歴史資料保存・展示の あり方に関する提言書

令和2年4月
湯沢市歴史文化懇話会

令和2年4月24日

湯沢市教育委員会
教育長 和田隆彦 様

湯沢市歴史文化懇話会
座長 高橋 正

歴史資料保存・展示のあり方に関する提言書の提出について

令和元年7月に湯沢市教育委員会からの委嘱を受け、湯沢市における歴史資料保存・展示のあり方について4回にわたって慎重に議論を重ね、湯沢市歴史文化懇話会としての意見を取りまとめましたので別紙のとおり提言いたします。

記

1. 湯沢市歴史文化懇話会

座長	高橋	正
副座長	谷地	薫
委員	政次	浩
委員	阿部	由布子
委員	山崎	由貴子
委員	高橋	喬司
委員	近田	浩治

2. 提出資料

「歴史資料保存・展示のあり方に関する提言書
(令和2年4月 湯沢市歴史文化懇話会)」

目 次

■ はじめに	2 ページ
■ 資料管理について	3 ページ
■ 調査研究について	5 ページ
■ 展示について	6 ページ
■ 教育普及について	8 ページ
■ 湯沢市の未来を見据えた 湯沢市歴史資料展示施設のあり方について	10 ページ
■ 資料編	14 ページ
・湯沢市内文化財件数一覧表	15 ページ
・湯沢市内文化財一覧	16 ページ
・湯沢市収蔵資料一覧	22 ページ

はじめに

平成30年4月に文化財保護法が改正され、人口減少・少子高齢化を背景に、地域の貴重な文化財の滅失・散逸等の防止が緊急の課題となる中、文化財保存活用地域計画の作成を市町村の努力義務とするなど、指定・登録文化財、未指定の文化財（以下「文化財等」という。）の保存と活用は、次世代への継承、さらには地域の活性化を図る上で、ますます重要になってきています。

湯沢市には、県指定文化財「佐竹南家日記」や「東福寺村上出土土偶」をはじめ169件の指定・登録文化財のほか、数多くの有形・無形・民俗・古文書等の未指定の文化財が遺されています。

文化財等の一部は、郷土学習資料展示施設、院内銀山異人館、稲庭城、雄勝郡会議事堂記念館等の既存施設に展示・保管されていますが、展示方針等については全体のビジョンがなく、そこから派生する個々の役割が不明確であり、結果として、施設間の情報共有や協働も不足しています。

また、多くの文化財等の保存環境は十分な状況とは言えないため、文化財等そのものやそれらの価値の消失が危惧されます。

さらに、それらを常時調査研究できる施設、設備、人材は未整備であることから文化財等とその価値を正確に継承していくことが困難となっています。

こうした現状を踏まえ湯沢市歴史文化懇話会では、市民及び市に関係する一人ひとりが、湯沢市の貴重な文化財等について知り、それらを次世代に継承し、さらに次世代の人々にも、文化財等を守り後世へ伝えていってもらうために、歴史資料の保存と展示、調査研究のあり方について、湯沢市公共施設再編計画（中間案）及び湯沢市観光振興計画等に則して検討を重ね、意見をまとめましたのでここに提言いたします。

< 提言要旨 >

- ・文化財等の保存、展示、調査研究について体制を含めた環境整備を早急に進める必要があり、そのためには文化財等の収蔵環境の把握と改善が必須となります。
- ・文化財等を後世の市民に安心かつ安全に継承し、文化財等の歴史文化上の評価を精確に行い、その成果を積極的に公開できるような施設整備を図る必要があります。
- ・文化財等の価値の深化や発見された未知の文化財の調査研究を、継続的に行うことができる人材の確保と施設整備が必要不可欠です。

資料管理について

現 状

これまで、文化財等は収集や保存に関する明確な方針等がないまま、その時々状況に応じた対応を行ってきました。

収蔵資料は市内14箇所にて点在し、各保存場所の余裕スペースは、ほぼありません。

また、市町村合併等により資料の移動を繰り返したことにより、資料整理やデータベース化が整っていない状況にあります。

人口減少を背景に、代替わりの際などにおける寄贈の申し出は、年々増加傾向にありますが、収集方針や保管場所がないことから適切な資料の管理を行うことができない状況が続いています。

保存場所は、いずれも湿度・温度管理等が施されておらず、保存環境としては劣悪な状態にあり、漆器類の中にはひび割れや変形したものも散見されます。このような資料を今後公開するにあたり、修復や燻蒸等の措置を必要とするものは相当数に昇ります。

方 針

文化財等をどのような方針で収集や保存すべきかの基準を定め、基準に則ってデータベース化や価値づけを行い、今後、文化財等が消失・滅失・流出しないよう積極的な資料管理に努める必要があります。

そのために、文化財等の保存環境の把握と改善を行う必要があります。

また、文化財等を的確に継承していくため、適切な保存環境と調査研究設備が整った施設及び人材と体制の整備を早急に行っていく必要があります。

加えて、未だ地域に眠る新たな文化財を発見するためにも、市民に広く情報提供を求めていくことが大切です。

具体案

- ◇資料管理基準を定めて収集や保存を実施する。
- ◇文化財資料の価値づけを評価基準によって評価をし、適正な収蔵場所に保存する。
- ◇資料の購入・寄付採納・寄託の受け入れは、多様なテーマによる専門・悉皆的な調査及び調査結果に基づいて判断する。
- ◇資料管理基準に不適合な資料等の取扱方法についても併せて検討する。
- ◇保存は適正な理論、収蔵設計及び空調管理等に基づく収蔵施設が最適である。
- ◇収蔵施設は、文化財等の保管・保存に対応するため、資料の素材等に応じた、最適な保存環境を構築・維持する。

- ◇保存・修復を図るため保存科学部門を含む専門職（学芸員）を配置する。
- ◇学芸員は市以外が保存管理する文化財等に対する適切な保存方法や修復方法等について所有者（管理者）への助言・指導の役割も担う。
- ◇現在、分散して保管されている資料については集約化を目指す。昔の暮らしの道具等については廃校舎等の活用も検討していく。

調査研究について

現 状

文化財等の調査は、文化庁や県主導によるものに随時対応してきましたが、市独自の調査研究に関しては、これまで計画的な調査は実施されていません。

調査結果の整理、データベース化等が進んでおらず、調査の成果に基づく展示会や調査結果報告書等の刊行物による市民への発信も行われていない状況です。

さらに、文化財の指定等に関連する調査業務も、市外の有識者等に頼っている現状にあります。

これは、調査研究のための施設及び専門的な人材・体制の整備がされていないことに起因しています。

方 針

文化財等の調査研究は、展示等による「公開」、講座等による「普及」、保存科学等、諸事業の基盤であるという認識のもと、文化財等の価値を適正に評価できるように方針を定め、客観的かつ精確に実施する必要があります。

また、文化財等の専門・悉皆的な調査を、計画的・継続的に実施し、客観的事実を調査研究によって把握することも必要です。

そのためには市民と協働しながら地域に眠る文化財も積極的に調査研究し、評価を行っていくことが肝要です。

さらに、市内にある文化財等の価値を客観的に評価するためには、他地域の文化財等との関連を調査することも大切です。

文化財等の保存・活用は調査研究により得られた客観的かつ精確なデータに基づいて、諸事業を立案・遂行する必要があります。そのためには多様な展示を可能とする各分野（歴史・文化史・自然史・教育普及【イベント・アートマネジメント、学校連携ほか】・博物館情報システム、保存科学等）に精通した学芸員（専任・常勤）の配置が欠かせない条件となります。

具体案

- ◇調査研究の成果は、研究紀要の刊行及び国内外の学術雑誌への発表等により学術的評価を行うとともに、展示や教育普及活動を通じて積極的に公表する。
- ◇調査結果は図録・調査報告書等の書籍として刊行し後世に確実に伝えていく。
- ◇調査研究の体制を確立するため専門職（学芸員）等、スタッフの配置、外部委託に加えてボランティア等、市民を巻き込んだ組織を整備する。
- ◇内外の教育・研究機関との連携及び、各分野・地域の専門家との情報の交換・共有ができる体制等の環境を整える。

展示について

現 状

湯沢市内の、既存の郷土学習資料展示施設、院内銀山異人館、稲庭城、雄勝郡会議事堂記念館で展示または保管され、各々の施設の方針に基づき、常設展及び企画展を開催していますが、市全体として俯瞰した場合、展示方針等の統一した観点や概念、施設間のネットワーク化は不十分であり、市全体の歴史やその価値、魅力を十分に分かりやすく伝える情報発信が効果的とは言えません。

市による収蔵資料の整理、調査研究の成果をもとにした企画展示等は、展示方針や専門的体制がないことから、年数回に止まっており、大規模なイベント・巡回展も実施できていない現状です。

また、昔の暮らしや道具に関する収蔵資料は多数保有していますが、市内には常設の展示・解説をしている施設がないため、市内の学校が他市町村へ出向いて学習せざるを得ない状況です。

方 針

展示活動は、常設展・企画展を問わず、文化財等の調査・研究の成果に基づきながら、誰もが湯沢を「知る」「発見する」「創る」「発信する」ことができるような、市民の学習意欲に応える内容としていく必要があります。

そのために、多様な文化財等を効果的に展示し、湯沢の魅力をわかりやすく内外に紹介できる、中心拠点（センター）と、それを取り巻く既存の4施設（サテライト）を配置し、連携を密にした展示が望ましい形です。

具体案

- ◇展示は、資料の調査結果や現代的なニーズを踏まえ、多くの市民が知るよろこび、見る感動、参加する楽しみ・興味関心を抱くことのできる内容とする。
- ◇展示を創意工夫し、湯沢市の歴史文化を深く・楽しく・分かり易く、発信できるようにする。
- ◇常設展示には、原始から現代までの通史と湯沢市を特徴づけるテーマ展示を組み込んだ内容にする。
- ◇湯沢雄勝地域の現在に至る歴史的経過を自然環境の変遷と合わせて展示し、地域の魅力を再認識する機会につなげる。
- ◇国宝・重要文化財の特別企画展示等、市民に名品を見る機会を提供する。
- ◇展示の企画では、世界から見た日本、秋田、湯沢といった俯瞰の視点も持つようにする。
- ◇展示手法は、教え込むのではなく、クイズや謎解きのように楽しんで学べるような視点とする。

- ◇テクノロジーやアート等の手法も適時取り込みつつ、現代的ニーズを鑑みた公開・展示企画も実現してゆく。
- ◇情報弱者にも配慮した展示や広報活動を心がける。
- ◇市民や県内外からの来客者向けに、地域の祭りや行事に合わせた事業を実施し、内外に発信していく。
- ◇祭礼や年中行事などの展示に関しては制作過程のみえる化や体験メニューの提供により、人とのふれあいや参加する人の喜びや楽しみを引き出すようにする。
- ◇中心拠点を設定するにあたっては、バスや自家用車での利用者への配慮や、中心拠点をより活性化させるために空き店舗の活用も視野に入れる。

教育普及について

現 状

市内に所在する指定・登録文化財を写真と解説により、市民をはじめ内外に知っていただくため「図録 湯沢市の文化財」を平成29年3月に発刊しました。

また、県指定文化財「佐竹南家日記」は、江戸時代の湯沢での出来事等が書かれたもので、平成3年度からは、貴重な史料を広く公開し歴史研究にも資するよう、古文書を原文のまま翻刻した「佐竹南家御日記（全26巻の叢書）」出版事業を開始し、今年度、第13巻が発刊される予定です。

「図録 湯沢市の文化財」・「佐竹南家御日記」の出版にあわせて、指定・登録文化財にさらに興味関心をもってもらえるよう、指定文化財展を期間限定で開催しています。

学校でも湯沢市の歴史文化について学習する機会がありますが、教師自身が直接見て触れる等の体験をしている例は少なく、地域に継承されている指定・登録文化財・先人や歴史等に関して学習を効果的に進める上での情報が不足しています。

歴史的建造物の活用については、雄勝郡会議事堂記念館や国登録有形文化財「山内家住宅」の公開企画展示・イベントの開催のほか、スケッチワークショップ等が、文化財等保護の大切さや郷土愛の醸成を図ることを目的に実施されていますが、観光や地域住民との連携による地域活性化につながる取り組みは、まだ少ない状況です。

方 針

教育普及活動は、学校教育と連携した学習支援を充実させることはもちろん、地域住民の地域学習（暮らし・住まい、習俗・習慣、無形文化財、祭礼・儀礼等）の継承や支援を実施することも大きな使命です。

そのためには、市が主催する事業と、市民ならびに市民団体が主体となって推進し市が運営を支援する事業とを実施し、同時に普及の担い手の育成や地域住民の活躍の場を創生していく必要があります。

特に、特色ある自然環境については、環境の再現等による体験的学習やワークショップ等を含む、自然環境に対する意識の深化に資する仕組みが必要であり、特色ある伝統工芸、特産品、無形文化財、習俗・習慣及び祭礼・儀礼等については、伝統及び技術等の継承のため、体験や参画の機会を提供していくことが大切です。

具体案

- ◇市民と協働で行う調査研究、フィールドワークなどの活動を実施する。
- ◇講座、ワークショップ、探訪ツアー、出張展示、現地見学会、地場産業の制作実演や実演体験等の教育普及活動を充実させる。
- ◇今日的な視点に基づいて、文化財等を生かした新たな付加価値を創出し、産業や観光と連携した地域活性化を図る事業を企画する。
- ◇市民からの情報を常時収集するため、気軽に相談できる窓口を設置し、対応できる職員を配置する。
- ◇創作活動の中核を担う、市民ならびに市民団体の育成及び連携を図る。
- ◇市民の自発的・自律的な創作活動（アート制作やワークショップ等のイベント）、創作成果の公開、アーティストとの協働等の場の提供及び活動の運営支援を進める。
- ◇通常参加が少ない青少年層にとっても魅力ある地域学習内容とするため、若者の声を聞くシステムを構築する。
- ◇文化財等の情報のデータベース化（展示物、収蔵物、文献等）と、それらを自由に閲覧できる環境を構築する。
- ◇調査研究成果による図録、調査報告書、資料集、史料翻刻等を、普及活動の内容として伝えていく。
- ◇収集や保存する資料の価値や保存の必要性を周知するため、調査結果（根拠）によるデジタル公開や展示公開を適宜実施し、情報の発信に努める。
- ◇観光振興計画とも連動した、観光客と市民との交流可能な場を提供していく。
- ◇通信環境（Wi-Fi等）の充実、多言語パンフレットの準備、及びデジタルコンテンツの積極的な活用等により、インバウンドを含めた観光客へも対応していく。
- ◇個々の児童生徒が、感性に基づき楽しみながら、歴史文化のあり方を見出せる学習プログラムを作成する。
- ◇文化財等を活用した学習プログラムの開発や児童生徒向けのリーフレット作成を学芸員と教員とが協力して実施する。
- ◇学芸員が学校にゲストティーチャーとして出向いて、地域の歴史文化を伝える仕組みを整備する。

湯沢市の未来を見据えた 湯沢市歴史資料展示施設のあり方について

保存・展示等の望ましいあり方や将来の湯沢市を総合的に勘案し、新たな歴史資料の展示施設を設置することが必要と思われます。

また、既存の展示施設も生かしながら、新たに拠点を設置する「センター・サテライト型」が望ましいと思われます。

センター	文化財等の評価、収集、保存、展示、教育普及、地域連携を担う 知の拠点	
	主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 国・県・市指定文化財やぜい弱な文化財等の収蔵保管 ❖ 文化財等の調査研究 ❖ 通史展示や特集展示を意識した常設展示 ❖ 自主企画展、巡回展の開催 ❖ 重要文化財や国有品の公開

施設名	雄勝郡会 議事堂記念館	郷土学習資料 展示施設	稲庭城	院内银山 異人館
所在地	北荒町 2-20	高松 字上地 6-2	稲庭町 字古館前平 50	上院内 字小沢 115
延床面積	499 m ²	848 m ²	752 m ²	435 m ²
用途	県指定文化財	博物館系	観光施設	博物館系
サテライト 現状機能	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財展 ・市民作品展示 ・指定文化財写真展 ・音楽イベント ・会議場 	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財 (主に長蓮寺遺跡) ・ジオパーク関連 ・酒造用具 ・地熱関連 	<ul style="list-style-type: none"> ・小野寺氏(中世) の歴史 ・稲川地域の歴史 ・皆瀬地域の歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内银山の歴史 ・雄勝地域の歴史
サテライト 新機能	<ul style="list-style-type: none"> ・建築資料館 ・市民作品展示 ・指定文化財写真展 ・音楽イベント ・会議場 	<ul style="list-style-type: none"> ・地質考古資料館 ・埋蔵文化財 ・ジオパーク関連 ・地熱関連 	<ul style="list-style-type: none"> ・中世歴史資料館 ・小野寺氏(中世) の歴史 ・稲川地域の歴史 ・皆瀬地域の歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉱山文化資料館 ・院内银山の歴史 ・雄勝地域の歴史
備考	・指定文化財展はセンター機能へ	・酒造用具はセンター機能へ		

※ センター・サテライトは共に連携し、センターはサテライトが有する情報の集約、結節点といった統括機能を果たす拠点であり、サテライトは特定分野の専門博物館と位置づけられます。

※ サテライト施設のほか、川連漆器類の伝承・展示については、川連漆器伝統工芸館においても実施されています。

センター施設の機能について

- ◇市全体を俯瞰的に知ることが出来る展示・解説（成り立ち、自然のありよう、歴史・文化の変遷、先人たちの営み、自然との共生・利用等）する機能
- ◇文化財等の魅力を生かした企画展を実施する機能
- ◇新たな付加価値の発信を目的とした事業展開を実施する機能
- ◇利用者の疑問や質問に気軽に対応できる、相談窓口の機能
- ◇学校・地域社会との連携による生涯学習の実現を図る機能
- ◇域外からの集客を目的とした情報発信機能
- ◇サテライト施設へ誘導できるような展示や紹介をする統括機能
- ◇将来、収蔵資料の増加時に対応する機能

センター施設の展示内容について

- ◇展示構成は、常設展及び企画展とする。
- ◇湯沢雄勝地域の通史の展示（ジオラマ・デジタルコンテンツ併用）をする。
 - ①現湯沢市に限らず、湯沢雄勝地域の現在の姿（産業、物産、生活文化、文化遺産、芸術文化、気風など）
 - ②現在の姿が生み出され形作られてきた歴史的経過
 - ③歴史的経過の契機となり持続させてきた自然環境（ビオトープ）
 - ④湯沢のお祭りの紹介
- ◇湯沢地区の自然と歴史
 - ①佐竹南家が育んだ湯沢の文化
 - ②商都湯沢の繁栄の姿
 - ③城下町と商都がこの地に形成された契機となり持続させてきた自然環境
- ◇湯沢の歴史を市民に伝える、代表的な資料を展示する。
- ◇災害との対峙等を含む、自然と人間の共生について（通史＋テーマ展示）の展示をする。
- ◇湯沢の歴史をソースとして編集・生成した、現代アート分野の作品展示と合わせて、デザイン性の高い商品企画を行う。
- ◇センターからサテライトに行きたくなるよう、パネル展示等、センターから誘導する仕組みを構築する。

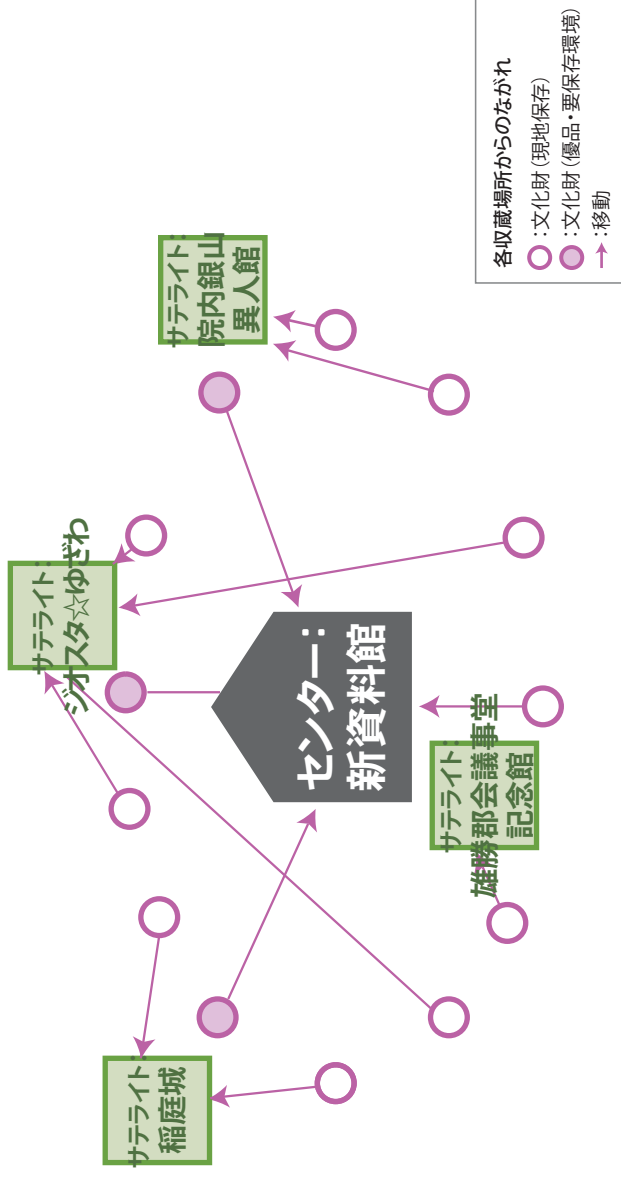
その他

- ◇センターは、市内でも人口が多い地区で、最も多数の湯沢市民が訪れやすい利便性の高い所に設置する。
- ◇センターの立地は災害（雪害、水害、土砂崩れ等）による被害が少ない場所が望ましいと思われる。
- ◇センターの位置は、交通の結節点、バス・自家用車利用への配慮、立地の歴史性や風致地区との密接な連携、災害対応等を考えると、現湯沢市役所周辺が望ましいと思われる。
- ◇センター施設は学校教育や生涯学習、観光等で活用されることを想定し、地域のガイドや教職員にも意見を出してもらい、多くの人が活用しやすい施設にする必要がある。
- ◇センター・サテライト施設間を、学習・観光等の目的で周遊する見学者の多様なニーズに応えるため、テーマ別、時間数別等のコースを多数用意し利用促進を図る。
- ◇センター・サテライト型により、中心市街地と周辺地域の交流・回遊の実現を図る必要がある。
- ◇センターとサテライト、及び観光地等を結ぶ、安価な料金設定のシャトルバスの運行や交通手段の明示等、交通弱者にも配慮する必要がある。

新資料館(センター)と既存施設(サテライト)のコンセプト案と展示イメージ

湯沢市の文化財、歴史、文化、自然科学を融合する「総合博物館」

センター：新資料館



【展示イメージ】



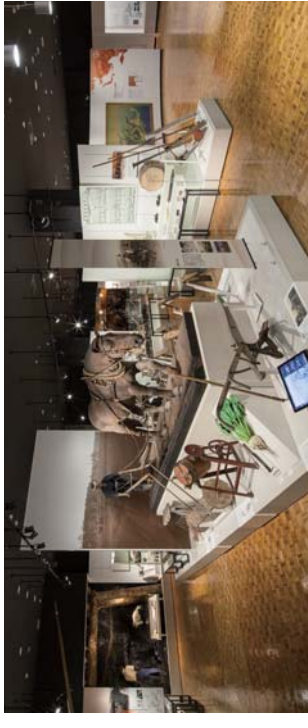
地域のシンボルツリー構を人文科学・自然科学両面で示す展示(熊本博物館)



歴史展示(手前)の周囲を囲う自然環境展示(三重県総合博物館)



素材の植生と加工法を同時に展示(琵琶湖博物館)



雪と向き合う暮らしの様子を伝える展示(北海道博物館)

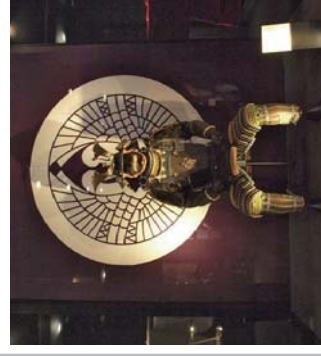
中世歴史資料館

サテライト：稲庭城

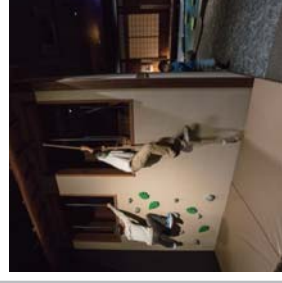


主に観光客をターゲットに、歴史と伝統産業を楽しく紹介した博物館。令和元年8月リニューアルオープン。

【展示イメージ】



装着再現展示で歴史を身近に 地域を代表する祭をクローズアップ(もりおか歴史文化館)



遊びながら歴史を学ぶ アプリにより当時をリアルに感じる(小田原城址公園 NINJA館) (姫路城・大発見アプリ)

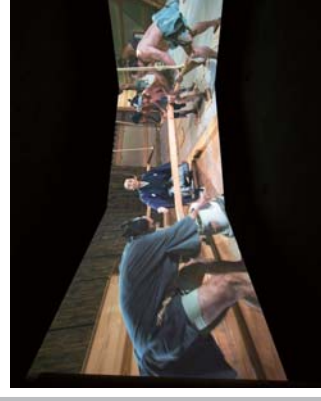
鉱山文化資料館

サテライト：院内銀山異人館



主に観光客、地域住民をターゲットに、東洋一を誇った銀山の歴史を紹介し、坑道ジオラマなどで当時の様子を再現した博物館。

【展示イメージ】



鉱山作業をリアルに再現する映像(きらりうむ佐渡)



郷土の偉人たちを顕彰(維新ふるさと館)



愛用の品とともに人物紹介(野口英世記念館)

地質考古資料館

サテライト：ジオスタ☆ゆざわ



主に地域の児童・生徒をターゲットに、考古資料、ジオパーク関連資料、民俗資料の体験学習ができる博物館。

【展示イメージ】



竪穴住居と当時の環境を再現(香川県立ミュージアム)



発掘現場再現で考古学を体験(大阪歴史博物館)

テーマ博物館(建築資料館)

サテライト：雄勝郡会議事堂記念館



主に観光客、地域住民をターゲットに、県内の代表的な明治時代の洋風官衙建築物を活かし、その歴史を紹介した博物館。

【展示イメージ】



明治憲法下の裁判を再現(松本市歴史の里 旧松本区裁判所庁舎)



建築空間を活かした展示(日光 英国大使館別荘)



明治時代の授業を体験(旧開智学校)

資 料 編

湯沢市内文化財件数一覧表

(令和2年4月1日現在)

【指定文化財】

種 別		国指定	県指定	市指定	計
有形文化財	建 造 物		2	5	7
	絵 画			7	7
	彫 刻		7	10	17
	工 芸		1	12	13
	書籍・典籍			7	7
	古 文 書		1	13	14
	考 古 資 料		3	15	18
	歴 史 資 料			23	23
民俗文化財	有形民俗文化財		1	4	5
	無形民俗文化財			8	8
記念物	史 跡	1	3	15	19
	天 然 記 念 物	1	2	8	11
合 計		2	20	127	149

【登録文化財】

種 別	国		計
登録有形文化財（建造物）	19件 (5箇所)		19件 (5箇所)

【記録選択文化財】

種 別	国	県選択	計
記録選択無形民俗文化財		1	1

湯沢市内文化財一覧表 (指定・登録年月日順)

県指定有形文化財 (建造物)

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	旧雄勝郡会議事堂	1 棟	昭和 50年 4 月 10日	北荒町 2 番20号	湯沢市	
2	菅生橋	1 基	平成 15年 3 月 25日	皆瀬字下菅生	〃	

市指定有形文化財 (建造物)

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	八幡神社社殿	1 棟	昭和 39年 3 月 26日	字内館山16番地	八幡神社氏子	
2	岩崎八幡神社本殿	1 棟	昭和 48年 12月 24日	岩崎字千年283	岩崎八幡神社氏子	
3	旧妙応山金剛院	1 棟	昭和 51年 5 月 7 日	相川字外ノ目21	個人	
4	旧院内尋常高等小学校及び校庭の石垣	1 棟外	平成 16年 11月 30日	下院内字田用橋60-1	湯沢市	
5	白山神社社殿	1 棟	平成 30年 8 月 8 日	松岡字聖ヶ沢42	白山神社	

市指定有形文化財 (絵画)

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	光聚院肖像	1 幅	昭和 44年 12月 19日	佐竹町1-1	湯沢市	
2	佐竹義處肖像	1 幅	昭和 44年 12月 19日	〃	〃	
3	長谷堂合戦図屏風	六曲一双	昭和 44年 12月 19日	内町	個人	
4	楊柳観音図	1 幅	昭和 44年 12月 19日	金谷字水尻	金谷町内会	
5	当麻曼荼羅	1 幅	昭和 52年 3 月 30日	表町1-5-43	浄土寺	
6	院内番所絵図	1 幅	平成 8 年 12月 24日	清水町二丁目	個人	
7	涅槃図	1 幅	平成 16年 2 月 12日	稲庭町字万田平20	善龍寺	

県指定有形文化財 (彫刻)

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	懸仏	1 面	昭和 30年 1 月 24日	稲庭町字小沢	個人	
2	懸仏	1 面	昭和 30年 1 月 24日	皆瀬字白沢	〃	
3	懸仏	1 面	昭和 30年 1 月 24日	稲庭町字下桃倉、高野	〃	
4	木造十一面自在観音	1 軀	昭和 31年 5 月 21日	山田字北土沢73	土沢神社	
5	女神像	1 軀	昭和 31年 5 月 21日	松岡字聖ヶ沢44	白山神社	
6	木造阿弥陀如来立像	1 軀	昭和 34年 1 月 7 日	下院内字新馬場153- 1	誓願寺	
7	木造十一面観音菩薩立像	1 軀	昭和 53年 2 月 14日	上院内字町後95	愛宕神社	

市指定有形文化財 (彫刻)

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	歓喜天尊神社及び旧広大寺 伝来諸像並びに棟札類	9 軀及び 2 枚	昭和 43年 12月 23日	湯ノ原一丁目225番	歓喜天尊神社	
2	三途川十王堂伝来諸像	36 軀	昭和 43年 12月 23日	高松字三途川98	三途川集落	
3	伝千手観音菩薩立像	1 軀	昭和 43年 12月 23日	杉沢字野々沢山30	杉沢町内会	
4	木造不動明王像及び二童子立像	3 軀	昭和 46年 3 月 15日	吹張1-8-45	湯仙寺	
5	弥勒大仏像	1 軀	昭和 47年 5 月 29日	関口字関口156	香川寺	
6	木造聖観音菩薩立像	1 軀	平成 7 年 3 月 1 日	岩崎字桂沢 7	永巖寺	
7	十一面観音坐像	1 軀	平成 16年 2 月 12日	三梨町字御嶽堂93	桂園寺	
8	六地藏立像	6 軀	平成 16年 2 月 12日	稲庭町字万田平20	善龍寺	
9	八幡大菩薩像御正躰	1 面	平成 30年 8 月 8 日	字内館町	八幡神社氏子	
10	石造仁王像	2 軀	平成 30年 8 月 8 日	松岡字聖ヶ沢地内	坊中自治会	

湯沢市内文化財一覧表 (指定・登録年月日順)

県指定有形文化財 (工芸品)

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	刀装 銘出羽秋田住正阿弥 伝兵衛作	1 本	昭和 38年 2 月 5 日	秋ノ宮字小沢	個人	

市指定有形文化財 (工芸)

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	横矧桶側胴具足	1 領	昭和 39年 3 月 26日	前森四丁目	個人	
2	松岡焼染付大皿	1 枚	昭和 42年 5 月 30日	松岡字坊中	〃	
3	佐竹南家使用の手水鉢	1 鉢	昭和 42年 5 月 30日	字内館町	〃	
4	紅葉狩図鐔	1 枚	昭和 44年 12月 19日	吹張一丁目	〃	
5	佐竹義睦拝領の鉢	1 双	昭和 48年 2 月 12日	下関	〃	
6	火縄銃二挺及び付属品一式		昭和 51年 5 月 7 日	内町	〃	
7	大名行列御道具		昭和 52年 3 月 30日	前森四丁目外	個人、大名行列保存会	
8	松岡焼染付大皿	1 枚	昭和 55年 2 月 25日	山田字川原	個人	
9	黒漆塗紺糸威五枚胴具足	1 領	昭和 56年 5 月 22日	内町	〃	
10	金燈籠	2 基	昭和 59年 3 月 13日	院内銀山町	金山神社	
11	五本骨扇紋付水引幕	3 枚	昭和 59年 3 月 13日	〃	〃	
12	日吉神社厨子	1 基	平成 17年 2 月 17日	川連町字下山王126外	日吉神社	

市指定有形文化財 (書跡・典籍)

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	解体新書	5 冊	昭和 41年 6 月 3 日	字内館町	個人	
2	佐竹義和書「時習」	1 幅	昭和 47年 5 月 29日	佐竹町1-1	湯沢市	
3	見聞雑話百物語	5 冊	昭和 48年 2 月 12日	前森一丁目	個人	
4	後藤逸女真筆歌文集	1 冊	昭和 58年 4 月 15日	川連町字野村	〃	
5	法帖	118点	平成 7 年 3 月 1 日	字内館町	〃	
6	稲庭古今事蹟誌	21冊	平成 16年 2 月 12日	稲庭町字南ヶ沢	〃	
7	夜籠雑談噺	1冊	平成 16年 2 月 12日	佐竹町1-1	湯沢市	

県指定有形文化財 (古文書)

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	佐竹南家日記	271冊	昭和 60年 3 月 15日	佐竹町1-1	湯沢市	

湯沢市内文化財一覧表 (指定・登録年月日順)

市指定有形文化財 (古文書)

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	大町祭賑帳	10冊	昭和 48年 2 月 12日	大町	大町町内会	
2	大倉村物成並諸役相定条々 及び 諸勸進合判	2 通	昭和 58年 4 月 15日	駒形町字大倉	大倉集落	
3	稲庭村物成並諸役相定条々 及び 諸勸進合判	2 通	昭和 58年 4 月 15日	佐竹町1-1	湯沢市	
4	宮田村物成並諸役相定条々 及び 諸勸進合判	2 通	昭和 58年 4 月 15日	三梨町字宮田	個人	
5	三梨子村物成並諸役相定条々 及 び諸勸進合判	2 通	昭和 58年 4 月 15日	佐竹町1-1	湯沢市	
6	慶安元年大倉村検地帳	1 冊	昭和 58年 4 月 15日	駒形町字大倉	個人	
7	文化十年稲庭村検地帳	4 冊	昭和 58年 4 月 15日	稲庭町字稲庭	〃	
8	慶長十九年稲庭村検地帳	3 冊	昭和 58年 4 月 15日	稲庭町字南ヶ沢	〃	
9	慶長十九年大館村検地帳	1 冊	昭和 58年 4 月 15日	川連町字麓	〃	
10	御公用日記	1 冊	昭和 58年 4 月 15日	稲庭町字稲庭	〃	
11	高段稲荷修復願書	1 点	昭和 58年 4 月 15日	三梨町字京政	〃	
12	稲庭うどん朱印状	1 幅	昭和 58年 4 月 15日	稲庭町字稲庭	〃	
13	天樹院様御用日記	1 冊	昭和 58年 4 月 15日	佐竹町1-1	湯沢市	

県指定有形文化財 (考古資料)

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	魚形文刻石	1 基	昭和 31年 5 月 21日	院内銀山異人館	湯沢市	
2	東福寺村上出土土偶	1 点	平成 23年 3 月 22日	ジオスタ☆ゆざわ	〃	
3	鏡田遺跡出土土偶	2 点	平成 23年 3 月 22日	秋田県立博物館	〃	

市指定有形文化財 (考古資料)

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	高松長蓮寺跡の板碑	2 基	昭和 41年 6 月 3 日	高松字上地22番地	土地集落	
2	山下孫継調査の遺物		昭和 42年 5 月 30日	ジオスタ☆ゆざわ	湯沢市	
3	阿弥陀堂境内の板碑		昭和 46年 3 月 15日	上関字鍋ヶ沢173	個人	
4	鏡田遺跡出土の遺物		昭和 51年 5 月 7 日	秋田県立博物館	湯沢市	
5	嘉暦元年碑	1 基	昭和 61年 8 月 1 日	熊野神社	白沢集落	
6	永和二年碑	1 基	平成 11年 3 月 24日	住吉神社	二井田集落	
7	応永七年碑	1 基	平成 12年 10 月 26日	寺沢字田中地内	湯沢市	
8	嘉暦二年碑	1 基	平成 12年 10 月 26日	寺沢字堀ノ内13	個人	
9	暦応元年碑	1 基	平成 12年 10 月 26日	寺沢字館堀96	赤塚神社	
10	嘉暦元年碑	1 基	平成 12年 10 月 26日	横堀字板橋40	熊野神社	
11	川連遺跡出土土偶	1 点	平成 12年 10 月 26日	院内銀山異人館	湯沢市	
12	建武元年碑	1 基	平成 15年 3 月 13日	相川字岩ノ沢地内	個人	
13	建武二年碑	2 基	平成 15年 3 月 13日	相川字中山18	〃	
14	素鈕梅柏双鳥文鏡	1 面	平成 28年 3 月 23日	川連町字中久保	〃	
15	亀座鈕蓬萊松菊双鶴接嘴文鏡	1 面	平成 28年 3 月 23日	川連町字中久保	〃	

湯沢市内文化財一覧表 (指定・登録年月日順)

市指定有形文化財 (歴史資料)

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	湯沢絵図	1 鋪	昭和 39年 3 月 26日	内町	個人	
2	川原毛硫黄山の制札	1 枚	昭和 39年 3 月 26日	字内館町	〃	
3	麗沢舎教師の墓碑	2 基	昭和 46年 3 月 15日	大町1-3-56	安乗寺	
4	岩崎絵図	1 枚	昭和 52年 3 月 30日	岩崎コミュニティセンター	個人	
5	稲庭村郷絵図	1 鋪	昭和 58年 4 月 15日	佐竹町1-1	湯沢市	
6	三梨村絵図	1 鋪	昭和 58年 4 月 15日	三梨町字上久保	個人	
7	大館村絵図	1 鋪	昭和 58年 4 月 15日	佐竹町1-1	湯沢市	
8	与惣右衛門堰疏水碑	1 基	昭和 58年 4 月 15日	三梨町字京政	京政集落	
9	稲庭うどん御用版木	5 点	昭和 58年 4 月 15日	稲庭町字小沢	個人	
10	川連漆器木地師関係文書	4 点	昭和 58年 4 月 15日	川連町字大館	〃	
11	岩崎藩主佐竹義理書「愛日廬」	1 幅	昭和 58年 4 月 15日	川連町字大水口	〃	
12	後藤逸女頌徳碑	1 基	昭和 58年 4 月 15日	川連町字野村9	龍泉寺、湯沢市	
13	江州木地師関係文書	12点	昭和 58年 4 月 15日	川連町字大館	個人	
14	八色八筋の旗	8 旒	昭和 50年 4 月 5 日	八幡字古館90	八幡集落	
15	旧川連村高橋利兵衛家文書	21点	昭和 58年 4 月 15日	佐竹町1-1	湯沢市	
16	木地師関係文書	7 点	昭和 58年 4 月 15日	川連町字大館中野	個人	
17	八口内尾張守の墓碑	2 基	昭和 62年 4 月 10日	秋ノ宮字内城地内	役内町内会	
18	佐竹南家関係資料一式	61点	昭和 62年 12月 18日	佐竹町1-1	湯沢市	
19	門屋盛信、和田雙穂画賛	1 幅	平成 8 年 12月 24日	桑崎字中泊	個人	
20	川向・畠等村境絵図	1 鋪	平成 29年 2 月 6 日	佐竹町1-1	湯沢市	
21	松岡銀山絵図	1 枚	平成 29年 2 月 6 日	〃	〃	
22	近松永和筆 院内銀山真景甲子春月図	1 幅	平成 29年 2 月 6 日	〃	〃	
23	近松永和筆 院内銀山鋪岡略絵図	1 幅	平成 29年 2 月 6 日	〃	〃	

県指定有形民俗文化財

No.	名 称	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	旧山田八幡神社獅子頭1頭及び鉦1振	平成 3 年 3 月 19日	山田字上ノ宿	個人	

市指定有形民俗文化財

No.	名 称	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	湯沢凧	昭和 39年 3 月 26日	市内	—	
2	六日町の市神	昭和 44年 12月 19日	山田字下六日町	六日町集落	
3	高倉案蔵作のまなぐ凧	昭和 47年 5 月 29日	佐竹町1-1	湯沢市	
4	百万遍こけし	平成 17年 2 月 17日	川連町字大館	大館集落	

湯沢市内文化財一覧表 (指定・登録年月日順)

市指定無形民俗文化財

No.	名 称	指定年月日	所 在 地	保存団体等	備考
1	関口ささら舞	昭和 39年 3 月 26日	関口	関口ささら舞保存会	
2	湯沢祇園囃子	昭和 47年 5 月 29日	—	湯沢祇園囃子保存会	
3	愛宕神社祭典「神渡行列並びに大名行列」	昭和 48年 2 月 12日	—	大名行列保存会	
4	切畑番楽	昭和 50年 4 月 5 日	松岡字切畑	切畑番楽保存会	
5	高松番楽	昭和 52年 3 月 30日	高松字上地	高松番楽保存会	
6	板戸番楽	昭和 59年 8 月 31日	皆瀬字板戸	板戸番楽保存会	
7	鹿嶋まつり	平成 3 年 3 月 5 日	岩崎	未広町、栄町、緑町	
8	役内番楽	平成 12年 10月 26日	秋ノ宮	役内番楽保存会	

国指定史跡

No.	名 称	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	岩井堂洞窟	昭和 53年 9 月 18日	上院内字岩井堂外	湯沢市 外	

県指定史跡

No.	名 称	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	磨崖	昭和 34年 1 月 7 日	横堀字板橋40番地	熊野神社	
2	一里塚	昭和 38年 2 月 5 日	愛宕町2-1-56	湯沢市	
3	旧院内銀山跡	昭和 48年 12月 11日	院内銀山町	—	

市指定史跡

No.	名 称	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	一里塚	昭和 39年 3 月 26日	湯ノ原1-417-1 外	個人	
2	湯沢城址	昭和 42年 5 月 30日	字古館山	湯沢市 外	
3	佐竹南家の塋域	昭和 46年 3 月 15日	清凉寺地内	個人	
4	了翁禅師の経塚	昭和 50年 4 月 5 日	八幡字前田16-2	八幡集落	
5	松岡経塚遺跡	昭和 55年 2 月 25日	松岡字聖ヶ沢	個人	
6	御膳水	昭和 59年 3 月 13日	院内銀山町	立石林業株式会社	
7	大切疎水道と御野立所跡	昭和 59年 3 月 13日	院内銀山町	〃	
8	正楽寺跡	昭和 59年 3 月 13日	〃	—	
9	鉾山分局跡	昭和 59年 3 月 13日	〃	立石林業株式会社	
10	西光寺跡	昭和 59年 3 月 13日	〃	—	
11	小関清水	昭和 59年 3 月 13日	院内銀山町	立石林業株式会社	
12	院内番所跡	昭和 59年 3 月 13日	上院内字荒町	湯沢市	
13	小野城址	平成 12年 10月 26日	泉沢字古館	〃	
14	門屋家墓所	平成 12年 10月 26日	正楽寺跡 (院内銀山町)	個人	
15	院内所預大山家墓所	平成 15年 11月 26日	上院内字小沢63番地	信翁院	

湯沢市内文化財一覧表 (指定・登録年月日順)

国指定天然記念物

No.	名 称	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	鯛状珪石および噴泉塔	大正 13年 12月 9日	秋ノ宮字役内山外	国(農林水産省)	

県指定天然記念物

No.	名 称	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	木地山のコケ沼湿原植物群落	昭和 43年 10月 15日	皆瀬字松森	国(国土交通省)	
2	川原毛の酸性変質帯	平成 28年 8月 30日	高松字高松沢国有林	国(農林水産省)	

市指定天然記念物

No.	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	雲岩寺のシダレザクラ	4本	昭和 50年 4月 5日	相川字古館ノ下外	雲岩寺	
2	風穴		昭和 56年 5月 22日	関口字糸倉山7-2	個人	
3	院内銀山のシダレザクラ	3本	昭和 59年 3月 13日	院内銀山町	金山神社、立石林業株式会社	
4	競いのモミ	2本	昭和 59年 8月 9日	山田字上堂ケ沢	最禪寺	
5	千代世神社のホオノキ	2本	昭和 62年 4月 10日	秋ノ宮字川連	千代世神社	
6	蟹沢のハイマツ	1本	平成 16年 2月 12日	三梨町字蟹沢77	個人	
7	三梨のナシノキ	1本	平成 16年 2月 12日	三梨町字古三梨106	五ヶ村集落	
8	赤塚白山神社のシダレザクラ	1本	平成 19年 4月 13日	横堀字赤塚68	社会福祉法人 偕行塾	

国登録有形文化財 (建造物)

No.	名 称	員数	登録年月日	所 在 地	所有者又は管理者	備考
1	両関酒造本館ほか4棟	5棟	平成 8年 12月 20日	前森4-3-18	両関酒造株式会社	
2	石孫本店内蔵ほか4棟	5棟	平成 10年 12月 11日	岩崎字岩崎162	有限会社 石孫本店	
3	山内家住宅主屋ほか6棟	7棟	平成 19年 10月 2日	吹張2-1-4	個人	
4	四同舎 (旧湯沢酒造会館)	1棟	平成 31年 3月 29日	前森一丁目	個人	
5	願空庵	1棟	平成 31年 3月 29日	湯ノ原一丁目	医療法人 恭和会	

県記録選択無形民俗文化財

No.	名 称	選択年月日	所 在 地	保存団体等	備考
1	鹿嶋まつり	平成 23年 3月 17日	岩崎	末広町、栄町、緑町	

湯沢市収蔵資料一覧(文化財種別)

令和2年4月1日現在

種別	点数	保管場所	資料内容(内訳数)	
古文書	20,000	湯沢図書館	佐竹南家御日記	272
		湯沢図書館	佐竹南家文書、小川家文書、各家文書等	
		湯沢図書館	早川家文書	85
		湯沢図書館	道中記(一式)	
		稲川庁舎	天神林家文書(一式)	
		稲川庁舎	高橋利兵衛家文書	16,000
			書籍	651
			葉書	2,229
			文書等	13,098
		稲川庁舎	村上三左衛門文書(一式)	
		稲川庁舎	田町大名行列関係資料(一式 祭典記録他67)	
稲川庁舎	小川家文書(一式、木箱23)			
古文書外	77	稲川庁舎	高橋正作関係資料一式	
			書籍	77
			掛軸	8
			和歌短冊外	9
工芸	21	稲川庁舎	扇紋蒔絵道具他漆工芸資料	21
		湯沢図書館	姉崎氏寄贈(藤木家所有伝)	
民俗資料	790	郡会土蔵・旧高松木材乾燥センター	農具、古民具(湯沢、稲川、皆瀬地域)	600
		院内地区センター	農具、古民具(雄勝地域)	50
		郡会土蔵	鍛冶道具(鑿他)	62
		稲川庁舎	吹張十王像	22
		旧高松木材乾燥センター	愛宕神社祭典古神輿	1
		稲川庁舎	芳賀家資料(一式 提重外)	12
		稲川庁舎	小川家大名行列関係資料(一式 陣笠外)	43
酒造用具資料	700	高松木材乾燥センター	6尺樽外	
		旧湯沢北小体育館		
		ジオスタ☆ゆざわ		
考古資料	215 (コンテナ)	ジオスタ☆ゆざわ ・秋ノ宮スポーツセンター	長蓮寺遺跡	100
			欠上り遺跡	100
			桐木田遺跡	20
			鶴沼城	20
			その他出土地不明等	40
			佐藤善助寄贈品(化石含む)	30
美術作品	263	稲川庁舎	紺野五郎油彩画作品	108
			佐藤脩平日本画作品	33
			近代児童作品(掛軸)	122
	106	稲川庁舎	佐藤蕪堂書作品 ※総務課所管	92
		本庁舎	土田幸子日本画作品 ※総務課所管	14
佐竹南家資料	33	湯沢図書館	朱塗り飲食器具	11
			黒塗り飲食器具外	6
		稲川庁舎	掛軸	16
行政資料		稲川庁舎	旧岩崎町書類一式(段ボール)	24
		雄勝文化会館地下	旧雄勝町行政資料一式	
		三関地区センター倉庫	旧三関村行政資料一式	
		稲川庁舎	旧稲川町史編纂資料一式	
		皆瀬生涯学習センター	皆瀬村史編纂資料一式(段ボール)	7
合計	22,205			

※ 収蔵資料点数はおおよそであり、資料内容欄に記載の数字の合計と必ずしも合致しません。

湯沢市収蔵資料一覧 (保管場所別)

令和2年4月1日現在

NO.	保管場所	面積(m ²)	種別	資料内容 (内訳数)
1	湯沢図書館	65	古文書	佐竹南家御日記 271
			古文書	佐竹南家文書、小川家文書、各家文書等
			古文書	早川家文書 85
			古文書	道中記 (一式)
			工芸	姉崎氏寄贈 (藤木家所有伝)
			佐竹南家資料	朱塗り飲食器具 11
			佐竹南家資料	黒塗り飲食器具外 6
2	雄勝郡会議事堂 記念館(土蔵)	52	民俗資料	農具、古民具 (湯沢、稲川、皆瀬地域) 100
			民俗資料	鍛冶道具 (鑿他) 62
3	三関地区センター倉庫	59	行政資料	旧三関村行政資料一式
4	ジオスタ☆ゆざわ	30	考古資料	長蓮寺遺跡 100
5	旧高松木材乾燥施設	686	民俗資料	農具、古民具 (湯沢、稲川、皆瀬地域) 500
			酒造用具資料	6尺樽外
			民俗資料	愛宕神社祭典古神輿 1
6	稲川庁舎(旧議場)	99	古文書	天神林家文書 (一式)
			古文書	高橋利兵衛家文書 16,000
				書籍 651
				葉書 2,229
				文書等 13,098
			古文書	村上三左衛門文書 (一式)
			古文書	田町大名行列関係資料 (一式 祭典記録他67)
			古文書	小川家文書 (一式、木箱23)
			古文書外	高橋正作・後藤逸女関係資料一式
				書籍 77
				掛軸 8
				和歌短冊外 13
			工芸	扇紋蒔絵道具他漆工芸資料 21
			民俗資料	吹張十王像 22
			民俗資料	芳賀家資料 (一式 提重外) 12
			民俗資料	小川家大名行列関係資料 (一式 陣笠外) 43
			美術作品	紺野五郎油彩画作品 108
美術作品	佐藤脩平日本画作品 33			
美術作品	近代児童作品 (掛軸) 122			
美術作品	佐藤蕪堂書作品 ※総務課所管 92			
佐竹南家資料	掛軸 16			
行政資料	旧岩崎町書類一式 (段ボール) 24			
行政資料	旧稲川町史編纂資料一式			
7	雄勝文化会館	29	行政資料	旧雄勝町行政資料一式
8	院内地区センター	113	民俗資料	農具、古民具 (雄勝地域) 50
9	秋ノ宮 スポーツセンター	115	考古資料	欠上り遺跡 100
			考古資料	桐木田遺跡 20
			考古資料	鶴沼城 20
			考古資料	その他出土地不明等 40
			考古資料	佐藤善助寄贈品 (化石含む) 30
10	皆瀬生涯学習センター	2	行政資料	皆瀬村史編纂医療一式 (段ボール) 7
合計		1,250	※ 収蔵資料点数はおおよその数値	

※ その他「院内銀山異人館」「稲庭城」「雄勝郡会議事堂記念館」の常設展示品と「旧湯沢北小」を加えた合計14か所に収蔵されています。

収蔵資料の保管状況

稲川庁舎

3階議場



古文書資料



美術品（絵画）

湯沢市郷土学習資料展示施設

（ジオスタ☆ゆざわ）

高松地区センター2階



埋蔵文化財発掘資料（遺物）

収蔵資料の保管状況

旧木材乾燥施設

高松地内



酒造用具・民具資料



収蔵資料の調査状況



作業実施場所：稲川庁舎

文化財保存活用地域計画作成事業（2か年）

